

《 馬 道 地 区 町 会 連 合 会 》

開催日：12月4日（金）

◇風水害時の避難行動及び避難場所について

質問	回答	対応
<p>今年の夏も九州地方や岐阜県、長野県などで大雨による河川の氾濫等、大規模な災害が発生しました。昨年、台東区でも台風19号による大雨の際に自主避難場所を開設しましたが、路上生活者の人たちの避難など課題やご苦勞もあったと聞いております。</p> <p>また、新型コロナウイルス対策のため、避難場所には、これまでより広いスペースが必要ですが、このような状況を考慮し、風水害時の避難行動及び避難場所のあり方について、区としてのお考えをお聞かせください。</p>	<p>近年、全国各地で様々な自然災害が発生しており、甚大な被害をもたらしております。</p> <p>台東区では、荒川氾濫、神田川氾濫、土砂災害、内水氾濫の起こる可能性があります。</p> <p>内水氾濫や神田川が氾濫した場合は、多くの地域で浸水が1 m未満と想定されているため、2階以上にお住まいの方は、ご自宅にとどまっていたいただきたいと思います。避難場所での「3密」を避けるため、自宅での安全が確保できれば、「在宅避難」をお願いしております。</p> <p>荒川が氾濫した場合は、区内の大半の地域が長期間水没し、孤立することが想定されております。2階以上にお住まいの方でも区が避難情報を発令した場合には、直ちに、上野公園や谷中墓地などの浸水区域外への避難をお願いいたします。</p> <p>風水害時の避難場所は、区が必要と判断した際に、開設し運営いたします。まず、自主避難場所を6か所開設し、浸水の可能性が高くなった場合に、追加で10か所開設いたします。新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、ソーシャルディスタンスを確保しやすい体育館等を避難スペースとしており、感染者や感染疑いのある方等には、別の部屋を設ける等の対応を取る予定です。感染症への対策を十分に行い、災害対策に努めてまいります。</p>	—

◇新型コロナウイルス感染症対策について

質問	回答	対応
<p>新型コロナウイルスの検査体制についてお尋ねします。</p> <p>当初は、発熱などの症状があっても、なかなか検査を受けられない方が多くいらしたようですが、最近では検査件数も増えているようです。</p> <p>現在、区内の検査体制はどのようになっているかお聞きします。また、希望する区民全員が検査を受けられるようにしてはいかがでしょうか。区としてのお考えをお聞かせください。</p>	<p>台東区では、令和2年4月に区内に検査会場を設け、検体採取を開始しました。検査対象は、医師が必要と判断した方、及び、濃厚接触者と特定された方となります。</p> <p>現在は医師会の協力により、検査を行う医療機関も増えているため、必要と判断された時から、数日以内に検査を受けることが可能な状況です。</p> <p>新型コロナウイルス感染症に加え、これからの時期はインフルエンザの流行も予想されています。そのため、発熱などの症状がある場合は、まずは、かかりつけ医にご相談ください。かかりつけ医がない場合等には、区と区内医師会等が連携した「発熱受診相談センター」にご連絡ください。発熱していても診察が可能な医療機関を紹介いたします。</p> <p>区民の皆さまが安全で安心した生活を送ることが出来るよう、そして、必要な方が適切に検査を受けられるよう、引き続き、受診・検査体制の充実・強化等を図ってまいります。</p>	<p>—</p>

◇新型コロナウイルス流行の中での区内経済の活性化について

質問	回答	対応
<p>今年、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、隅田川花火大会や浅草サンバカーニバルなど、多くの区内行事が中止となりました。</p> <p>馬道地区でも一葉桜まつりや芸能大会、町会の盆踊りなどが中止となり、大変寂しい限りです。</p> <p>また、観光客の減少により、地元の飲食店をはじめ、多くのお店が深刻な打撃を受けています。</p> <p>そこで、新型コロナウイルスの中で、区として経済を活性化するための取り組みがあればお聞かせください。</p>	<p>観光客の中には、感染状況の高止まりを警戒し、東京への来訪を控えている方も多いと思われます。都内の感染者数がゼロにならない中で、地域経済活動を止めないためには、感染拡大防止の取り組みとの両立が不可欠であると考えます。</p> <p>このような状況の中、区ではInstagramやTwitterを活用し、区内観光事業者のコロナへの取り組みや、安全をアピールしつつ、事業者のアカウントの存在を広く伝える目的で「#たいとう愛」を開始いたしました。さらに、講習会などを通じて、区内施設・事業者の感染対策を支援し、安全な観光ができる環境を整えると共に、観光客の来訪を促すため、民間事業者などと連携したプロモーションも実施しております。</p> <p>また、5月に感染拡大防止対策を講じるための補助金を商店街へ交付し、7月からは感染予防に取り組む店舗へ「新しい日常取組宣言」ステッカーの配布や、区産業情報誌「ネットワークたいとう」に店舗情報を掲載するなど、安全・安心に取り組む店舗であることを紹介し、10月からは月に1回感染予防の知識等を学べる講習会を開催いたしました。</p> <p>特に飲食店での感染予防が大切であるため、飲食店関係者を対象とした講習会実施後、受講者を「新しい日常取組推進員」に認定し、感染防止対策の啓発や助言等の活動に係る経費を補助しております。</p> <p>今後も、地域経済の活性化のために必要な消費喚起策を検討してまいります。</p> <p>※商店街が共同して実施する売出し事業に対し、支援を行う準備を進めています。 (産業振興課)</p>	<p>○</p>

◇自転車の運転マナーについて

質問	回答	対応
<p>自転車は環境にやさしく、便利な交通手段であり、最近は、新型コロナウイルスの影響で、通勤や宅配に自転車を利用する方も増えています。</p> <p>しかしながら、以前から自転車の運転マナーの悪さが気になっています。走行中の携帯電話の使用、自転車走行レーンの逆走、信号無視、傘をさしながらの運転など、危険な行為がたくさんあります。</p> <p>事故が起きないように、区からマナー指導・啓発をよろしくお願いします。</p>	<p>自転車利用者の中には、「ながら運転」や「傘さし運転」など、危険な運転を行っている人が見られます。</p> <p>区では、自転車利用者の交通ルールの徹底に向け、区内の警察署と合同で、小学生や中学生への交通教育や一般区民向けの講習会を毎年実施しているほか、街頭キャンペーンやケーブルテレビでの啓発番組制作などにより、安全意識の向上を図っております。</p> <p>また、都内における相次ぐ自転車事故を受け、先般、区内の全警察署に対し、危険運転者に対する指導・取締りの強化について申し入れを行いました。</p> <p>馬道地区については、11月に、浅草警察署と合同で自転車利用者向けの街頭キャンペーンを実施したところです。</p> <p>引き続き、交通事故の防止に向け、各警察署と連携しながら自転車利用者への啓発に取り組み、自転車の安全利用の促進を図ってまいります。</p>	<p>○</p>